



『ラスベガス』では、音楽を活用した集団体操を行っており、特に人気なのがレディー・ガガの楽曲「ポーン・ティス・ウェイ」に合わせた運動です。この体操に参加された方には、「ベガス」と呼ばれる施設内通貨が配布され、その施設内通貨を使用してブラックジャック、麻雀、パチンコ、スロットなどのゲームを楽しむことができます。いずれのゲームも自主選択となり、自分が遊びたいゲームを選択できるのもポイントです。

衰えがちな認知機能の維持・向上が期待されます。また、ゲームのルールを学ぶことで、新しい知識を得る機会にもなり、脳の活性化につながると考えられます。単なる娯楽ではなく、頭を使いながら楽しめるプログラムとして、多くのご利用者から好評を得ています。

快適な入浴環境と選べる食事

機能訓練プログラム、認知機能トレーニングと共に、入浴設備も充実しています。個室での入浴が可能で、同性介助によるサポート体制が整えられているため、プライバシーを守りながら、安心して入浴を楽しむことができます。入浴は身体の清潔さを保つだけでなく、リラクゼーション効果も期待できるため、ご利用者の皆様にとって体も心もリフレッシュできる時間となっています。



食事については、毎日複数のメニューが用意され、食べたいものを選択できるシステムになっています。ご利用者の状況に合わせて、減塩やペーストなどの対応も可能です。

デイサービスの新しいカタチ

運営にあたっては、固定観念にとらわれることなく、柔軟な発想でご利用者に満足していただくという姿勢が窺えます。従来のデイサービスとは異なるアプローチを取り入れるために、東京などで視察を重ね、ご利用者が「楽しい」と思えることを突き詰めて運営されています。加えて、テーマ性にもこだわり、送迎車は介護の車を連想させない、ハイヤーのようなイメージの車を使用。また、介護サービスを提供するスタッフも、リゾートホテルを彷彿させるようなユニフォームを着用しており、テーマ性を高めています。

そんな細部に至るまでこだわってデイサービスを運営する『ラスベガス』が目指すのは、「高齢者」ではなく「幸齢者」を増やすこと。日本を支えてくださった方々が、幸せに歳を重ねて穏

やかに楽しく過ごせる場所を創出しています。

デイサービスという施設は、楽しむ場所であると共に、「自立」していくことが目的でもあります。その中でポイントになるのは継続性で、いかに優れた機能訓練プログラムがあっても、継続できなければ十分な効果は得られません。では、その継続性を生み出すためには何が必要か——それは自主性に他なりません。行きたいと思える場所を創ることが大切で、「仕方なく行く場所」ではなく、「ぜひとも行きたい場所」にするために、さまざまな工夫が凝らされているのです。

実際に、『ラスベガス』のご利用者からは、「頭を使うので夜はぐっすり眠れる」「外出のきっかけになる」「他のデイサービスにも見学に行つて子どもっぽいレクリエーションが多かったが、ここは違う」「家族に行けと言われて半ば無理やり連れてこられたが、こんなに自分が楽しめると思わなかった。今ではラスベガスに行く日が楽しみ」といった声がたくさん寄せられており、同業の施設と比べても顧客満足度が高いことが窺えます。

フォーラム Forum Senior Life News Letter

シニアライフ通信

特集

新しい視点で楽しむデイサービス『ラスベガス』

〜カジノを活用した脳トレ・機能訓練〜

宮崎市大塚町にあるデイサービス『ラスベガス』では、一般的なデイサービスとは一線を画したユニークな取り組みを行っています。固定観念にとられない柔軟な発想で、「幸齢者」を増やすことを使命に新しい価値を創出する『ラスベガス』の実態に迫りました！



カジノで遊べるデイサービス？

パチンコや麻雀、トランプゲームといったカジノの要素を取り入れ、それらを脳トレや機能訓練として活用しているデイサービス『ラスベガス』。同施設



では、ご利用者に、楽しみながら頭や体を動かしていただける環境を提供しています。

ご利用の対象となるのは、要支援1〜2（※宮崎大塚店のみ）、要介護1〜5と、一般的なデイサービスと同じで、ご利用者の平均介護度は1〜2となり、比較的自立度の高い方が多い印象です。通常のデイサービスにはあまり関心を持たれない方でも、「ここなら行ってみたい」と積極的に通



われているのが特徴で、施設の名前の通り、まるでラスベガスのカジノを訪れたかのような雰囲気があり、従来のデイサービスとは異なる楽しみ方を提供していま

す。誤解のないように申し添えておきますと、実際に金銭を賭けることは一切なく、施設内で使用できる施設内通貨で遊興できるシステムになっています。

また、カジノ部分が注目されがちですが、デイサービスの核となる機能訓練プログラムも充実しており、全体運動、部分運動など、ご利用者の身体状況に合わせて適切なサービスが受けられます。そうした機能訓練プログラムと並行して、脳トレーニングの一端でカジノが楽しめるようになっていきます。

音楽を活用した体操とゲームによる認知機能トレーニング

高齢者が利用するデイサービスにおいてカジノを提供することとは、とすれば、賭け事を連想させることから否定的な意見もあるかもしれません。ですが、実際に『ラスベガス』を利用されている方々は、皆一様に笑顔で、楽しそうに過ごされています。倫理的な考えはさまざまあれど、ご利用者の楽しみや幸福を真に願ってそこを追求していく姿勢は、福祉の根源のようにも思います。全ての人が幸せに生きる権利を行使するのが福祉であるならば、こうしたデイサービスの形もあつて然るべきだと思います。

超高齢社会に突入し、4人が1人が高齢者と言われる今の日本で、高齢者福祉は今後一層重要になってきます。デイサービスの在り方に一石を投じる『ラスベガス』の取り組みは、今後、益々の発展が期待されます。興味をお持ちの方は、ぜひ一度見学されてみてはいかがでしょうか。

■取材協力／
 デイサービスラスベガス 宮崎大塚
 ☎0985-41-5588